

田尻だより

平成 17 年

2月 号

Vol. 23

次回の田尻便りは
3月発行予定!

暦の上では春とはい
え、まだまだ寒い毎日
が続いております。今
年は雪が多いため、例
年よりも寒いように思
われます。

雪が降ると除雪が大
変なのですが、小野寺
家では農業機械で一気
に除雪してしまいます。

農家つてつくづく力強
いものですね。



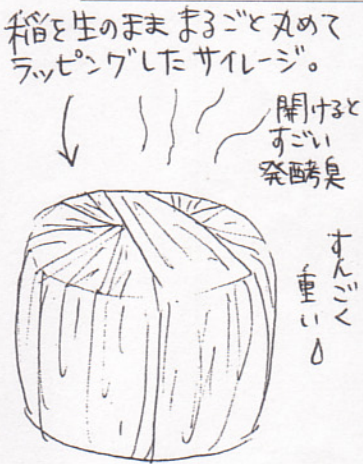
〔減反の利用〕

田んぼにやってくる
雁たちが、ひときわ集
まっている田んぼがあ
ります。それは、私達
の減反の田んぼです。
私たちは減反の田んぼ
でも稲を植え、飼料作
物として育てます。

登熟時期を迎えた稲
を刈り取り、穂も茎も
まるごと丸めて大きな
ロール状にします。こ
れをビニールで密封し
て発酵させると、サイ
レージと呼ばれる栄養に

富んだ飼料ができます。
ちなみに、この餌は牛
の大好物です。

サイレージの田んぼ
では、稲を丸める際に
穂がたくさん落ちるの
で、多くの雁や白鳥が
落ち穂をついばみにや
つて来るのです。元々
は、減反による田んぼ
の畑地化や荒廃を防止
し生態系の維持を目指
したサイレージ作りで
したが、人や牛や雁に
とつて、より良い結果
となっているようです。



米 暦 ~こめごよみ~

(農閑期のため、お休みです。)



絵と文 / 小野寺 ひかる

嫁日記

最近、おじいさんがうきう
きしています。というのも
もうすぐひな祭りがやって
来るからです。

男ばかりの小野寺家で、女
の子が生まれたのは実に50
年ぶりのこと。戦後はおひ
なさまなんて飾れなかった
そうなので、小野寺家にと

っては初めてのおひな祭り
なのです。女兄弟の中で育
った私にとっては、皆の
反応がとても新鮮です。

おじいさんは早速、さくら
のためにひな人形を頼んで
くれました。「もうすぐお
ひな様来るからなー」と
毎日嬉しそうにさくらに話
しかけるおじいさんを見ると、私もとても嬉しいです。